２０２４年１０月１０日

小田急電鉄株式会社
（コード番号　９００７　東証プライム）

小田急グループの鉄道・鋼索輸送によるCO_2削減貢献量を算定！

～小田急電鉄、江ノ島電鉄、箱根登山電車、箱根登山ケーブルカーのご利用で
自動車輸送と比較して年間約１２１万 t- CO_2の削減に貢献～

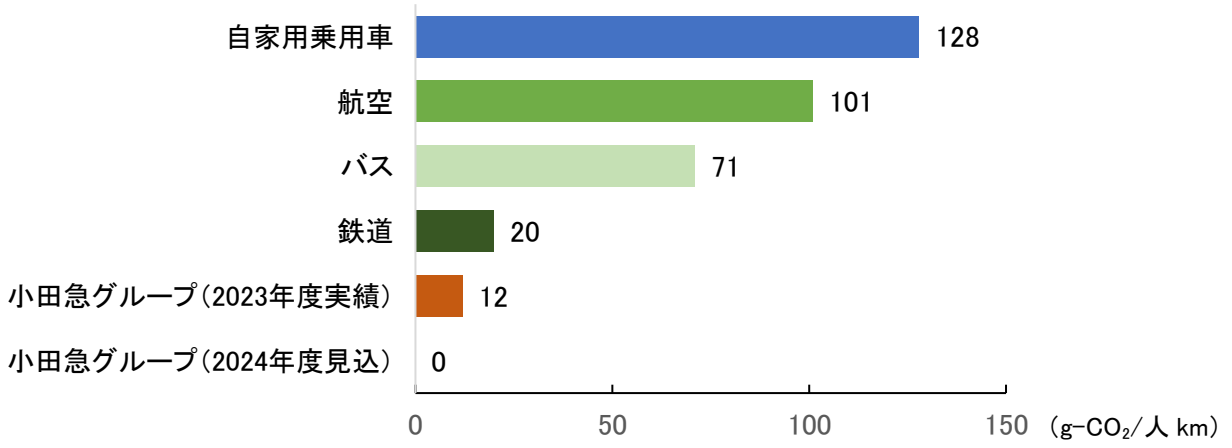
小田急グループでは、小田急グループの鉄道・鋼索輸送（小田急電鉄、江ノ島電鉄、箱根登山電車、箱根登山ケーブルカー）を通じて生まれたCO_2削減貢献量を算定しました。

鉄道は、自動車や航空機と比較して環境優位性の高い輸送機関です。これまでも、小田急グループでは車両の省エネ化をはじめとした設備面から、マイカーに対する環境優位性を発信するとともに、MaaS の実現に向けた取り組みによるストレスフリーな移動の提供等を通じて、お客さまの公共交通利用を促してきました。

このたび、小田急グループの地域のCO_2排出量削減への貢献を見える化することで、脱炭素につながるお客さまの行動変容をさらに促し、社会のカーボンニュートラルの実現に貢献していきたいと考え、CO_2削減貢献量を算定・開示することとしました。

算定結果は以下の通りです。

旅客輸送機関別　単位輸送量当たりの CO_2 排出量



出典：国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」

小田急グループでは、旅客の鉄道利用に係るCO_2排出量の算定ガイドライン（国土交通省　鉄道脱炭素官民連携プラットフォーム　利用促進・見える化WG）に基づき削減貢献量を算定しました。

小田急グループ上記交通網の2023年度の単位輸送量あたりのCO_2排出原単位は12 g-CO_2/人 km であり、**自動車輸送と比較して、年間121万 t-CO_2 排出を回避しています。**

例えば、お客さまが新宿から箱根（早雲山）まで旅行（往復）した場合、自動車輸送と比較して22．８ kgの CO_2削減貢献が可能となります。この削減量は、ドラム式洗濯乾燥機（洗濯～乾燥）約32回分※1、杉の木2．6本が1年間に吸収する CO_2量※2と同等です。

なお、2024年4月から、特急ロマンスカーを含む小田急線、箱根登山電車、箱根登山ケーブルカー、箱根ロープウェイ、江ノ島電鉄、大山ケーブルカーで、運行に使用するすべての電力を実質的に再生可能エネルギー由来のものとし、CO_2排出量実質0で運行していることから、2024年度以降の削減貢献量はさらに増加します。※3

2024年9月には小田急グループ初となるオンサイト PPA を海老名のロマンスカーミュージアムで運転開始しており、今後も小田急グループでは事業活動を通じた CO_2排出量削減などの環境課題に取り組む行動指針「小田急グループ　カーボンニュートラル2050」に基づく施策を推進していきます。

【参考】

「小田急グループ カーボンニュートラル2050」について、詳細は小田急電鉄ホームページからご確認いただけます。

（URL）https://www.odakyu.jp/sustainability/carbon-neutral/

※1 ドラム式洗濯乾燥機（洗濯～乾燥）の消費電力量を900Wh、洗濯乾燥時間を120分と仮定

※2 林野庁「森林の二酸化炭素吸収力」（https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/ondanka/20141113_topics2_2.html）より

※3 2024年3月28日ニュースリリース発出 「小田急グループ交通網は、100%再生可能エネルギー由来の電力で運行開始」

（https://www.odakyu.jp/news/b4fuqs0000000y3x-att/b4fuqs0000000y44.pdf）

以　上